

授業科目		科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
健康政策学特論		2 単位 30 時間(15 コマ) 講義科目	博士前期 1 年次 後期開講	☐ ・不可
科目責任者	河原 和夫（非常勤）、吉池 信男（学内調整担当）			
担 当 者	河原 和夫（非常勤）、野村 陽子（非常勤）、菅河 真紀子（非常勤）、吉田 恵子（非常勤）、 仁賀 建夫（非常勤）、高久 玲音（非常勤）			
1. 科目のねらい・目標				
【ねらい】国内外および地域の保健・医療・介護・福祉に関する諸制度や政策を解説するとともに、それらの関係性の理解を目指してディスカッションを行い、現状の課題や解決方策に関わる考察を深める。 【目標】諸制度や政策、それらの関係性を理解し、現状の課題や求められる制度・政策を提案できる。				
2. 授業計画・内容				
1～3）河原 和夫：社会保障政策の中での健康政策（健康増進計画等）、医療政策（医療計画等）および介護政策（介護事業計画等）の位置づけや、根拠となる制度・政策に関して解説する。さらにそれらを活用した地域における公衆衛生活動への展開を学習する。				
4～6）野村 陽子：保健・医療に関連した制度の理解を深め、それを変革するための政策について、具体的な事例の政策過程を通して学習する。				
7）～8）菅河 真紀子：米国、英国、中国などの健康政策、医療政策、介護政策の特徴について学び、わが国の制度と比較することで、海外の制度の長所や課題を抽出し、わが国として学ぶべき点について理解する。				
9～10）吉田 恵子：ドイツを中心に、他の欧米諸国の医療制度・政策を比較しつつ解説する。わが国が参考にしたドイツの介護保険制度についても触れる。これらを通じて、わが国の医療・介護制度の位置づけを学習する。				
11～12）仁賀 建夫：公的保険外のヘルスケア産業に関する経済産業省の政策の考え方と内容について学ぶ。				
13～15）高久 玲音：国や地方の財政を、医療・介護等と関連付けて経済学的に分析・考察し、財政論的な視点から健康政策の意義を学習する。				
3. 教科書、参考書				
参考書： ・野村 陽子：看護制度と政策. 2015, 法政大学出版会 ・池上 直樹, J.C. キャンベル：日本の医療. 1996, 中公新書 ・秋吉 貴雄：入門 公共政策学―社会問題を解決する「新しい知」2017, 中公新書 ・厚生労働省：厚生労働白書 ・厚生労働統計協会：国民衛生の動向 ・OECD, Rethinking Health System Performance Assessment: A Renewed Framework, OECD Health Policy Studies, OECD Publishing, 2024. Paris, https://doi.org/10.1787/107182c8-en . 適宜 OECD など各国データを示す。				
参考サイト： ・厚生労働省ホームページ「医療計画について」、「地域医療構想」、「介護事業計画」などに関わる部分 ※その他必要に応じて指示します。				
4. 成績評価方法				
各回のプレゼンテーション（60%）、レポート（40%）により、総合的に評価します。				
5. 受講要件				
なし				
6. 社会人学生に対する配慮				
対面とオンラインを組み合わせたハイフレックス型、あるいは双方向型の完全オンライン授業を予定しています。				
7. その他				
講義欠席の場合には、講義動画をオンデマンド視聴の上、個別の課題提出などにより出席とみなします。				